

ENG カメラ用プロンプターキット

TP-600-BRC2



取扱説明書

datavideo
JAPAN

目次

<u>サポート窓口</u> -----	1
<u>内容物</u> -----	2
<u>HC-600 専用キャリングケース(付属品)</u> -----	3
<u>概要 / 特長 / 完成例</u> -----	4
<u>組立方法</u> -----	5
<u>カメラの露出と 60/40 ガラス</u> -----	8
<u>アプリケーションソフトウェアをダウンロードする (App StoreSM・Google Play Store)</u> -----	8
<u>タブレット機器設定</u> -----	9
ディスプレイ設定 (Display Settings) -----	9
プロンプター設定 (Promptings Settings) -----	10
スクロール開始時間設定 (Start Settings) -----	10
リモコン設定 (Remote Settings) -----	10
ビルドバージョン -----	10
<u>原稿を入力する</u> -----	11
<u>リモコンの操作方法</u> -----	11
『WR-500』 Bluetooth TM ワイヤレス・ワイヤード兼用リモコンを使用する -----	12
『WR-500』 ワイヤードモード(有線)で使用 -----	13
『WR-500』 ワイヤレスモード(Bluetooth TM)で使用 -----	13
<u>60/40 ガラスを清掃する</u> -----	14
<u>仕様</u> -----	15

サポート窓口

datavideo JAPAN

株式会社 M&Inext datavideo 事業部

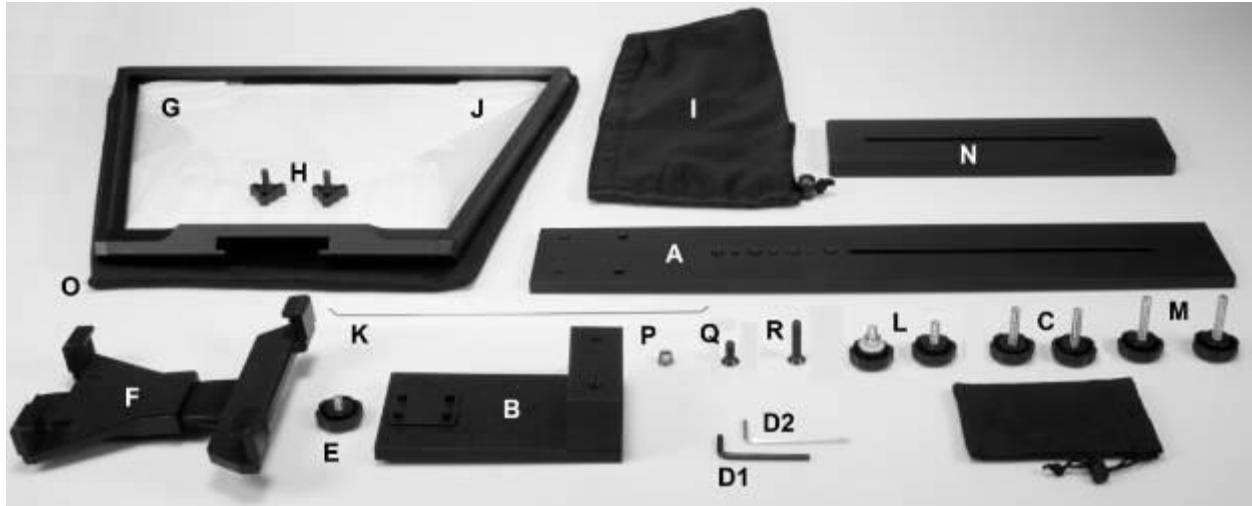
〒231-0028 神奈川県横浜市中区翁町 2-7-10 関内フレックスビル 210

TEL:045-415-0203 FAX:045-415-0255

MAIL: service@datavideo.jp URL: <http://www.datavideo.jp/>

内容物

製品には下記の部品が含まれます。いずれかの部品が同梱されていない場合は取扱店まですぐにご連絡下さい。



番号	アイテム	数量
A	プロンプターレール	1
B	スペーサーブロック付きレール	1
C	固定ネジ(アイテム B-A 用 / 27mm)	2
D1	六角レンチ(黒 / 六角穴付ボルト用)	1
D2	六角レンチ(シルバー / ガラスフレーム用)	1
E	固定ネジ(アイテム F-B 用 / 8mm)	1
F	タブレット取付治具	1
G	ガラスフレーム(マジックテープ付属)	1
H	ガラスフレーム用ねじ	2
I	プロンプターフード(布製)	1
J	60/40 ガラス	1
K	フードサポートワイヤ	1
L	カメラ固定用ねじ(短 / 16mm)	2
M	カメラ固定用ねじ(長 / 31mm)	2
N	ライザーブロック(15mm 厚)	1
O	60/40 ガラス、ガラスフレーム用ケース(布製)	1
P	3/8 インチ→1/4 インチ変換アダプタねじ	1
Q	六角穴付ボルト(短 / 16mm)	1
R	六角穴付ボルト(長 / 31mm)	1
-	専用キャリングケース(HC-600)	1
-	取扱説明書(本書)	1
-	専用リモコン	1

TP-600-BRC2 キットのタブレット用のリモコンは下記の物が同梱されています。

『WR-500』Bluetooth™ ワイヤレス・ワイヤード兼用リモコン(iPad®、Android™ タブレット共用)
ワイヤード用ケーブル 3m、首掛け用ストラップ

HC-600 専用キャリングケース(付属品)



HC-600 の中にある緩衝材は取り外しが出来る為、TP-600 に限らず様々な機器のケースとして使用することが可能です。

特長

- ロック付きの為、ケースが容易に開くことはありません。
- 耐衝撃性に優れたヒンジを使用することにより、単体で直立に置くことが可能です。
- 持ち手が中心にあることで、持ちやすさ、丈夫さに優れています。
- 耐衝撃、耐振動、防塵、防錆に優れています。
- 低温環境で使用可能(-25℃まで)
- 湿気を防ぐ密封性
- 圧力放出弁付き
- 積み重ね可能

仕様

- 外形寸法：515mm(幅)×410mm(高さ)×200mm(奥行)
- 内径寸法：481mm(幅)×352mm(高さ)×100mm(奥行)
- 蓋内径寸法：481mm(幅)×352mm(高さ)×70mm(奥行)
- ケースのみの重量：約 4.15 Kg
- ケースとキットを含む総重量：約 7.70 Kg

概要

TP-600-BRC2 モバイルプロンプターキットは iPad®(別売)、Android™タブレット(別売)を安価で有効なプロンプターに変身させることができます。

劇場やスタジオで使うことができ、準備しておいた原稿やキューシートをメールやテキストデータからアプリケーションソフトウェア(dv prompter)に読み込み、あらかじめ設定しておいた速度でスクロールさせることができます。また、被写体が付属のリモコンで表示するタイミングを制御することにより、より自然に話すことができます。読みやすいフォントや文字色、フォントサイズが数種類用意されているので、カメラから離れていても快適に読むことができます。

特長

- 簡素なソフトウェアと付属のリモコンにより、低予算でもプロの仕事を実現できます。
- 特殊な 60/40 ガラスを採用することにより、司会者はカメラを見ながら原稿を読むことができます。
- プロンプター取付金具は、一般的な三脚の雲台であれば、どんなものにも取付け可能です。
- カメラの前にタブレットを据付けることができ、原稿を表示させることができます。
- 多種多様なカメラに適応するように、プロンプターフードの留めひもは調整可能です。
- 特殊な道具は必要なく、簡単に組立てることが可能です。
- 調整可能なホルダーにより、タブレットを簡単に据付けることができます。
- 付属のリモコンを操作することで、一人で撮影することが可能です。

取付例



組立方法

アイテムの名称は P2 の 内容物をご参照ください。



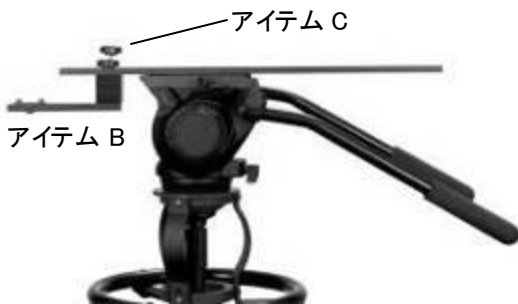
- (1)
お手持ちの三脚に付属するクイックリリースプレートをプロンプターレール(アイテム A)のネジ穴に合わせ、クイックリリースプレートのネジで固定します。
長い溝がカメラの後ろ側で、レール上にある4穴がカメラのレンズ側になるようにセットします。

注意)
クイックリリースプレートを通せる2本目のネジを別途用意してください。クイックリリースプレート上でネジを回し、プロンプターレールを固定します。

アイテム A

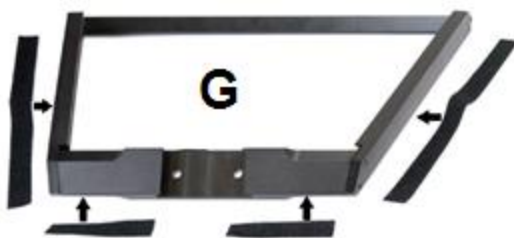


- (2)
三脚のクイックリリースプレートを取付けたプロンプターレール(アイテム A)を三脚の上にスライドさせて、固定します。



- (3)
プロンプターレール(アイテム A)の先端から2列目の取付穴にスペーサーブロック付きレール(アイテム B)を下側から合わせ、上から固定ネジ(アイテム C)を使い固定してください。

注意)
プロンプターレール(アイテム A)にガラスフレームを取り付けるため、レール先端から1列目の取付穴を2つ残しておいてください。

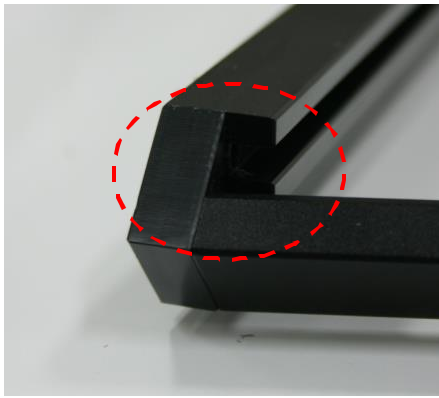


- (4)
ガラスフレーム(アイテム G)の左右エッジに付属の長いマジックテープ(計2枚)を、下側のエッジに付属の短いマジックテープ(計2枚)を貼り付けます。

注意)
マジックテープはまっすぐ貼り付けてください。またネジの上に貼り付けないように気をつけてください。



- (5)
マジックテープを貼り付けたガラスフレーム(アイテム G)をプロンプターレール(アイテム A)の上面にスライドさせ、レール先端から1列目の取付穴に合わせます。
ガラスフレーム(アイテム G)がカメラ位置から反対方向に傾いていることを確認し、2本のガラスフレーム用ねじ(アイテム H)を使って固定します。



(6)
ガラスフレーム (アイテム G) の左右にある溝に 60/40 ガラス (アイテム J) をスライドさせて取り付けます。

※ガラスを破損しないようにお取扱には十分注意してください

※ガラス両面の角にそれぞれ赤と緑の丸いシールがあります。赤側をカメラレンズ側に向け、緑側の面にタブレット原稿を映し出します。



(7)
ガラスフレーム (アイテム G) の左右上端をネジで留めて、60/40 ガラス (アイテム J) を固定します。

(8)
タブレット取付治具 (アイテム F) をスペーサーブロック付きレール (アイテム B) 下側のホックに取り付け、固定ネジ (アイテム E) を使い固定します。

※タブレット治具を取り付ける際は樹脂製のボルト受側ナットが破損する恐れがあるため強くねじ込まないでください。



(9)
カメラのレンズをできるだけ 60/40 ガラス (アイテム J) の中心に近づけます。

ご使用される三脚のカメラアダプタで既に十分な高さを確保している場合はライザーブロック (アイテム N) を使用しません。(必要に応じてライザーブロックを使用します)



(10)
お手持ちの三脚アダプタをカメラ固定用ねじ (アイテム M・L) を使い、プロンプターレール (アイテム A) に取り付けます。

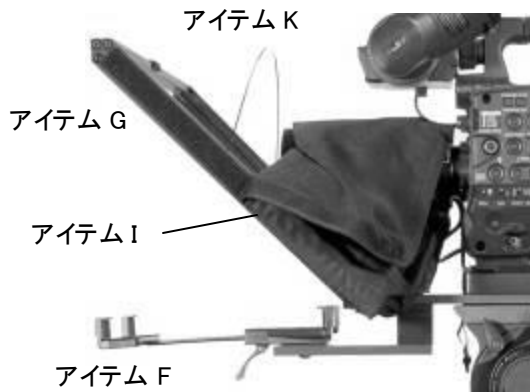
カメラ固定用ねじ・長 (アイテム M) はライザーブロック (アイテム N) を使用する場合、カメラ固定用ねじ・短 (アイテム L) はライザーブロック (アイテム N) を使用しない場合に使用します。

※三脚アダプタ取付写真例
(ライザーブロックなし)

六角穴付ボルト (アイテム Q・R) は、お手持ちの三脚アダプタとライザーブロック (アイテム N) の両方を三脚に取り付ける必要がある場合にご使用ください。



(11)
お手持ちの三脚アダプタに ENG カメラを取り付けます。また、レンズと 60/40 ガラス(アイテム J)の距離が 1~2cm になるようにフレームをスライドさせ、位置を調節します。その際、カメラのレンズと 60/40 ガラス(アイテム J)を傷つけないように注意してください。



(12)
フードサポートワイヤ(アイテム K)をガラスフレーム(アイテム G)の左右中央部にある穴に引っ掛けて取り付けます。プロンプターフード(アイテム I)がレンズの前に垂れ下がることを防ぎます。

(13)
マジックテープを使い、プロンプターフード(アイテム I)をガラスフレーム(アイテム G)のエッジに取り付けます。



(14)
光を遮断する為にプロンプターフード(アイテム I)でカメラレンズを覆い、留めひもで締めつけます。

(15)
お手持ちのタブレットの電源をオンにして、あらかじめ dv prompter app をインストールし、アプリを起動します。(詳しくは P9 を参照してください)
また、リモコンの準備も進めます。(詳しくは P12, P13 を参照してください)



(16)
設定済みのタブレットをタブレットホルダーに取り付け、ホルダーの位置をタブレットのサイズに合わせて調節します。

タブレット取付治具(アイテム F)の裏面にあるレバーでロックします。しっかり固定されていることを確認してください。

また、原稿が表示される向きに気を付けてタブレットを取り付けてください。

(補足 1) リモコンの操作は付属するリモコンタイプに合わせた設定を選択してください。(詳しくは P12, P13 を参照してください)

(補足 2) 必要に応じてプロンプターの設定や、カメラの露光時間を調節してください。

カメラの露出と 60/40 ガラス

カメラを組立てた後、レンズの前の 60/40 ガラスを付けたまま、カメラの設定やホワイト・バランスを調整します。60/40 ガラスには、ND(減光)フィルターのようにカメラの露出を約 1 目盛り変えたような効果があります。カメラの露出やホワイト・バランスの設定については、ご使用になるカメラの取扱説明書をご覧ください。

App StoreSMからアプリケーションソフトウェアをダウンロードする

dv Prompter を下記のどちらかの方法でダウンロードしてください。※無料でダウンロードできます。

- PC でダウンロードしたものを iPad[®]に同期する。
- iPad[®]に直接ダウンロードする。
※インターネット、または、ワイヤレス通信に接続していることを確認してください。

<iPad[®]に直接ダウンロードする場合>



ソフトウェアをダウンロードするときは、ホームスクリーンの App StoreSMアイコン をタップしてください。iPad[®]用のソフトウェアをストアでブラウズするか、もしくは、スクリーン上部、または、下部の検索バーをタップし、Datavideo、または、dv Prompter と入力してください。検索アイコンを右にタップすると、検索が実行されます。検索結果のリストにソフトウェアが表示されるので、フリー アイコンをタップし、インストールします。



インストールされているソフトウェアのアップデートが有効になると App StoreSMアイコンの表示が変わります。タップするとソフトウェアのアップデートが実行され、dv Prompter のようなお気に入りのソフトウェアは常に最新バージョンになります。

Google Play Store からアプリケーションソフトウェアをダウンロードする

dv Prompter を下記の方法でダウンロードしてください。※無料でダウンロードできます。

- タブレットに直接ダウンロードする。
※インターネット、または、ワイヤレス通信に接続していることを確認してください。



ソフトウェアをダウンロードするときは、ホームスクリーンの Google Play ストアTM アイコン をタップしてください。AndroidTM用のアプリをストアでブラウズするか、もしくは、スクリーン上部、または、下部の検索バーをタップし、Datavideo、または、dv Prompter と入力してください。検索アイコンを右にタップすると、検索が実行されます。検索結果のリストにソフトウェアが表示されるので、フリー アイコンをタップし、インストールします。

※2015 年 11 月現在、Windows タブレット/スマートフォン向けのアプリはありません。

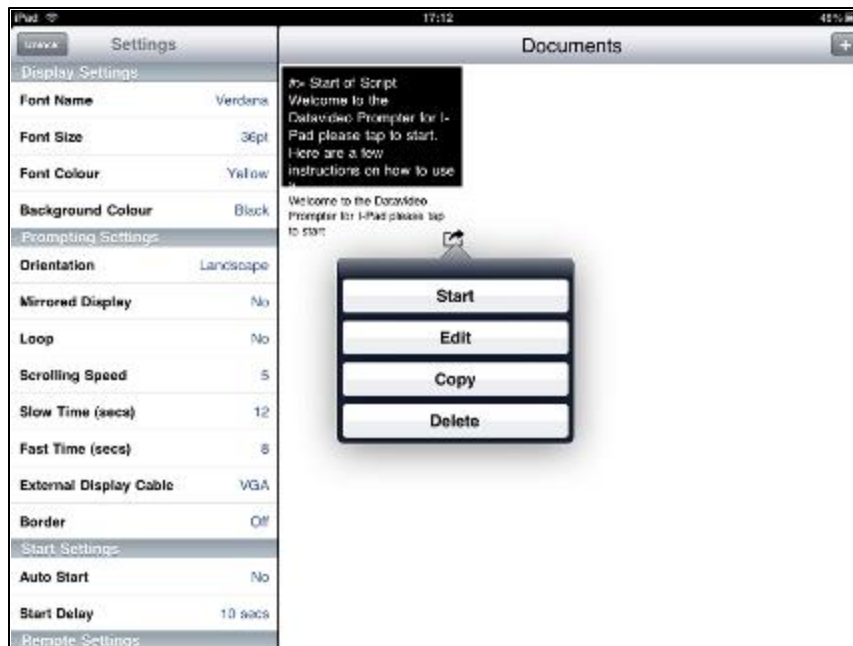
タブレット機器設定

1. タブレットで長時間操作をしないときは、原稿のスクロール等が途中で中断しないように、オートロック/オートスリープの機能を OFF に変更してください。
2. 1 項と同じようにご使用を始める前に携帯電話、SMS、アラーム、および E メール機能も OFF にしてご使用いただくことをお勧めします。
3. プロンプターとして使用する前にタブレットの自動ロック機能の設定を「しない」にしてください。

※ご使用時にはタブレットのバッテリーが十分充電されているかをご確認いただき、充電が少ないようでしたら事前に充電をして下さい。

※Androidの場合、端末が HID ドライバーか Bluetooth キーボードに対応しているか確認してください。また、ワイヤードモードを使用する場合、ジャックソケットが Microphone 入力に対応しているか確認してください。

アプリケーションソフト dv Prompter の設定



■ ディスプレイの設定 (Display Settings)

フォント、フォントサイズ、フォントの色、背景色を設定することができます。

初期設定はフォントの色：白、フォント：Arial、フォントサイズ：36pt、背景色：黒になっています。

Font Name 8 種類のフォントから選択できます。(日本語は 1 種類・Arial のみ対応)

Font Size iPad®: 10 サイズから選択できます。(9pt~54pt)
Android™: 24 サイズから選択できます。(9pt~122pt)

Font Colour / 7 色(黒、白、赤、黄、青、緑、オレンジ)から選択できます。

Background Colour 注意: 文字は全て選択した色で表示されます。一部の文字を別の色に変えることはできません。

フォントとサイズを変えながら、カメラやプロンプターから離れた場所で快適に読めるかどうか試す必要があります。
注意: リモコンのケーブルの長さは 3m 及び Bluetooth™ ワイヤレスリモコンの動作距離は約 3m です。

iPad®, Android™ タブレットの可読範囲は 3m です。

■プロンプターの設定 (Prompting Settings)

Orientation	表示する画面の方向を設定をします。 Portrait: 縦 / Landscape: 横
Mirrored Display	表示形式を設定します。 Yes: 文字をガラスに映し、反転させて使用 No: ガラスに映さずに普通のディスプレイとして使用
Loop	スクロールタイプを設定します。 Yes: 繰り返しスクロール / No: 1 回のみスクロール
Scrolling Speed	文字のスクロール速度を 10 段階で設定します。(1 遅い → 10 早い) はじめはスクロール速度を 5 にしておくとい良いでしょう。 リモコンを使って速度を調整することも出来ます。
Slow Time / Fast Time	Scrolling Speed で設定した速度の微調整に使用します。 リモコンを使用する場合は、SPEED ボタン及びスクロール加速/減速ボタンを使用します。 例) カメラ前で原稿 1 ページ分を 5~8 秒で読む人の場合は、Slow Time・8 秒、Fast Time・5 秒に設定します。スクロールの最中に SPEED ボタンを押すと、1 段階ずつ速度が変わります。
External Display Cable	VGA やコンポジット信号に対応した外部のモニターに接続します。 (専用ケーブルが必要です。すべての機器で利用できるわけではありません) ※Android™ のアプリにはこのメニューは御座いません。
Border	表示画面の外枠範囲を 4 段階 (Small、Medium、Large、OFF) で指定できます。 ※Android™ のアプリにはこのメニューは御座いません。
Justification	文字列の配置を設定します。 Left 左添え / Center 中央添え / Right 右添え

■スクロール開始時間設定 (Start Settings)

Auto Start	スクロールスタートの自動・手動を選択します。 Yes: 自動 / No: 手動
Start Delay	Auto Start で「Yes: 自動」を選択した場合、遅延させる秒数を 0~10 秒の間で設定できます。

■リモートの設定 (Remote Settings)

Break Marker	あらかじめ登録したマーク (初期設定は *#) を原稿内に付けておくと、付けた箇所 所に瞬時に移動できます。 ※リモコン使用時のみ有効。
Remote Type	使用するリモコンの種類 (None、Wired、Wired-WR-150、Wireless、Bluetooth、 Bluetooth -WR-450、Bluetooth -WR-500、Wired-WR-500) を選択します。 ※Wireless は使用できません。

■ビルドのバージョン

使用中のソフトウェアのバージョンを確認できます。

原稿を入力する

dv Prompter に原稿を入力します。

- ① タブレットにメールで送る。
メールで送られてきた文章を Edit Document にコピー & ペーストします。
- ② Edit Document を使用して直接入力します。
- ③ PC で作成した原稿(テキストファイル)を iTunes® 経由で同期します。

<iTunes 経由で同期する場合>

1. iTunes® を開き、デバイスを選択します。
2. 「App」をクリックし、ファイル共有画面で「dv Prompter」を選択します。
3. 転送したいテキストファイルを選択します。
4. iPad® と PC を接続し、同期ボタンをクリックし、転送します。

注意: テキストファイルは必ず「文字コード: UTF-8」で保存してください。その他のエンコードでは正しく転送されません。

リモコンの操作方法

TP-600-BRC キットのタブレット用のリモコンは下記の物が同梱されています。

『WR-500』Bluetooth™ワイヤレス・ワイヤード兼用リモコン(iPad®、Android™タブレット共用)
首掛け用ストラップ ワイヤード用ケーブル 3m 1式

※) 本体を分解・改造はしないでください。保証の対象外となります。

『WR-500』Bluetooth™ワイヤレス・ワイヤード兼用リモコンを使用する

接続と操作



- ①充電及び表示用 LED ライト
- ②首掛け用ストラップ取付ソケット

+ スクロール 加速 : 文字のスクロール速度が加速します。

- スクロール 減速 : 文字のスクロール速度が減速します。

※リモコンを使用するときのスクロール速度は5が最適です。

<< ブレークマーカー 前方 : スクロールを停止させた後、原稿の前方へジャンプさせるときに使用します。

>> ブレークマーカー 後方 : スクロールを停止させた後、原稿の後方へジャンプさせるときに使用します。

※ブレークマーカーを使用する場合、あらかじめ、設定しておいた Break Markers を原稿に付けておく必要があります。

▶|| 再生 / 一時停止 : スクロールの開始/一時停止をします。もう一度スクロールさせるには再度、このボタンを押してください。



首掛け用ストラップを②に取り付けた様子

ご利用方法

本体にはボタン電池(CR2032)が内蔵されています。

また電池が切れた際はユーザー自身で電池を交換することが可能です。



カバーを外して
表面(+)を上に向けて差し込む

※手袋等を使用して作業を行ってください

指紋を付けると錆びが発生して不具合の原因になります。

※電源は本体が5分無操作状態が続くと自動的に切れます。

『WR-500』 ワイヤードモード(有線)で使用

出荷時に本体はワイヤードモードに設定されています。必要に応じてワイヤレスモードに切り替えることが可能です。

ワイヤードモードで使用する場合は、本体を付属のワイヤード(有線)用ケーブルでスマートフォンまたはタブレットに接続する必要があります。

ジャックプラグコネクタはタブレット端末のミニジャックソケットに適合します。

※)ワイヤードモードで使用する場合は、dv Prompter アプリの Settings - Remote Type で“Wired - WR-500”に設定してください。

ワイヤレスモードからワイヤードモードに戻す場合、再生/停止ボタンを緑の LED が点灯するまで長押ししてください。

再生/停止ボタンを離し、もう一度いずれかのボタンを押したときに赤の LED が点灯すると、ワイヤードモードに切り替わっています



『WR-500』 ワイヤレスモード(Bluetooth™)で使用

※) 一般的な Bluetooth デバイスとはペアリング方法が異なりますのでご注意ください。
iOS の場合、【設定- Bluetooth】画面からのペアリングは不要です。

ワイヤレスモードに切り替えるには、以下の手順を行います。

1. 再生/停止ボタンを緑の LED が点灯するまで長押しし、離します。
離した後、緑の LED が点滅します。
2. タブレットで dv Prompter アプリを起動し、
Settings - Remote Type で「Bluetooth - WR-500」を選択します。
3. dv Prompter アプリで Scripts から原稿を再生します。
リモコンが使用可能になっている事をご確認ください。
(ボタンを押したときに緑の LED が点灯します)



※) 現在使用しているモードがワイヤレスかワイヤードかわからなくなった場合、
いずれかのボタンを押したときに点灯する LED の色を確認してください。
赤の LED が点灯した場合はワイヤードモード、緑の LED が点灯した場合はワイヤレスモードです。

60/40 ガラスを清掃する



本製品には、60/40 ガラスが1枚含まれています。注意してお取扱ください。

輸送や開梱、清掃、製品に60/40 ガラスを組立てたり、分解したりするときには、破損する危険を回避するために、本取扱説明書にしたがって注意して扱ってください。

ほこりや指紋を取除くために、定期的にガラスを清掃することをお奨めします。清掃することによってガラス越しに撮影したものを録画するときには最高の画質を保証します。

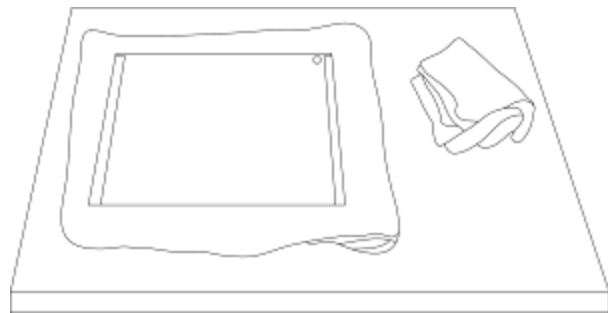
プロンプターフードに取付けた状態で、ガラスを清掃することは、絶対におやめください。

マジックテープを付属の取外しツールを使って、フードからガラスを慎重に取外してください。ガラスを清掃した後、再度、プロンプターフードに取付けてください。ガラスは常に、布で覆われた端を持って慎重に取扱ってください。

ガラスの品質を維持し、清掃時に傷を付けないようにするためには、

- 研磨布やパッドを決して使用しないこと。また、研磨剤入りの液体をガラスの上に決して霑さないこと。
- 清掃には、酸性、また酢を含んだ液体を決して使用しないこと。

柔らかく、安定した、表面に汚れがなく、けばだっていない表面、つまりテーブルにきれいな布を置いたようなところにガラスを載せます。それから、汚れがなく、けばだっていない、柔らかな布でガラスを清掃します。



クリーニング液を直接ガラスに付けることは、おやめください。代わりに布に少量のクリーニング液を含ませるか吹きかけてください。

ガラスの清掃は円を描くようにして軽く布でガラスを拭きます。指紋や汚れが完全に取れたことを確認してから、ガラスを裏返し同じ作業を繰り返します。

清掃が完了したならば、プロンプターフードにガラスを取付けます。取付けるときには、布で覆われた端以外は、決して持たないようにしてください。ガラスの緑色のシールがタブレット側に、反対に赤色のシールはレンズ側に向いていることを確認してください。

必要に応じて、カメラフードを取付けなおすか、固定しなおしてください。

仕様

型番	TP-600-BRC2
可読範囲	3m
リモコン	『WR-500』 Bluetooth™ ワイヤレス・ワイヤード兼用リモコン (iPad®、Android™ タブレット共用/ワイヤード用ケーブル 3m 付き)
寸法 / 質量	プロンプターキット(組み立て後) : 415mm(幅) × 290mm(高さ) × 750mm(奥行) / 約3.1kg タブレットホルダー 調節可能範囲 : 105~198mm (タブレットが収まる幅) ※HC-600 専用キャリングケース(付属品)の仕様は P3 をご参照ください。

※仕様は、予告なしに変わることがあります

datavideo は、Datavideo Technologies Co., Ltd の登録商標です。
日本語訳・制作 株式会社エム・アンド・アイ ネットワーク

2016.06.23